



2023年
1月11日
No.A22-09

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2022年12月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・12月7日(水)、木内 登英 野村総合研究所
エグゼクティブ・エコノミスト「2023年の日本
経済の展望」(於：オークラ東京)



<要旨>

2023年の世界経済について、物価高や利上げ競争により同時不況に陥るリスクがあると説明がなされた。また、現在の日本の物価上昇率や金融政策の特徴、歴史的なドル高への各国の対応、米国金融政策の転換の見通し、そして日本の異次元緩和政策 10年の総括と今後の金融政策正常化の展望について分析があった。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・12月12日(月)、溝渕 正季 広島大学大学院
准教授「協調か競合か——中東地域秩序をめぐる米中間の角逐」(Zoom形式)

<要旨>

講師より、中東地域においてアメリカと中国は協調・共存し得るのか、あるいは競合するのかとの問題意識を念頭に、近年の両国による中

東への政治、軍事、経済的関与を詳しく説明し、互いの利害を分析した上で、今後のゆくえを検討した。



(3) 中東情勢分析発表会

・12月6日(火)、第25回オンライン中東情勢
分析発表会 (Zoom形式)

演題：「サウジアラビア内外政：ウラー宣言を経た地域外交の展開と「有終の美」を見据えるビジョン2030」(研究員 高尾 賢一郎)



<要旨>

ウラー宣言を経た地域外交の展開を概観し、サウジアラビアの地域外交や、サウジ・ビジョン2030の集大成を見据えた動きについて説明した。

演題：「イラン抗議デモの背景と展望：ライシー政権が直面する試練と大きな変化を見せるイラン社会」（研究員 青木 健太）



<要旨>

イランでの抗議デモの政治・経済・社会的背景について、過去のイランで発生した抗議デモとの比較から説明した。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2022年12月号（2023年1月11日付）
- 1. イスラエル：最も右寄りなネタニヤフ政権の成立
- 2. カタル：中東初開催のサッカー・ワールドカップが閉幕
- 3. アフガニスタン：ターリバーンが女性の教育・就労を大幅に制限
- 4. イラン：抗議デモ参加者の死刑執行
- 5. トルコ：パリ中心部でのクルド人銃撃事件に対するトルコの反応
- 6. アルジェリア：タブーン大統領が「ワグネル」のマリ展開に立場表明

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.16 「「イスラーム国」がカリフの死亡と新カリフを発表」（12月1日）
- ・No.17 「「イスラーム国」新カリフに対する各

支部の忠誠表明と近況」（12月9日）

- ・No.18 「「イスラーム国」がアフガニスタンの中国人行きつけホテルで自爆攻撃」（12月13日）
- ・No.19 「「イスラーム国」新カリフへの遅れての忠誠表明」（12月21日）

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

No.125 「イラン：抗議デモの継続と「指導巡視隊」の活動休止をめぐる動き」（研究員 青木健太、12月5日）

No.126 「サウジアラビア：OPEC プラスによる石油減産維持の思惑」（研究員 高尾賢一郎、12月6日）

No.127 「サウジアラビア：習近平中国国家主席の訪問 #1」（研究員 高尾賢一郎、12月9日）

No.128 「サウジアラビア：習近平中国国家主席の訪問 #2」（研究員 高尾賢一郎、12月12日）

No.129 「トルコ：イمامオール・イスタンブール市長に有罪判決」（研究員 金子真夕、12月16日）

No.130 「チュニジア：議会選挙第1回投票の暫定結果」（研究員 高橋雅英、12月21日）

No.131 「アルジェリア・モロッコ：フランスによる査証発給制限の撤廃」（研究員 高橋雅英、12月22日）

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(4) その他の活動

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく B/中東諸国の紛争と平和」へ当会研究員が出講した。

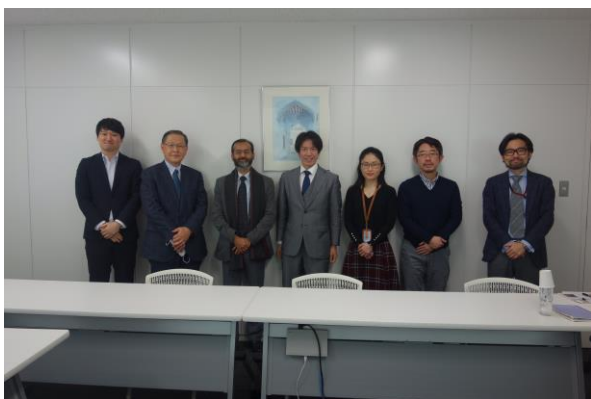
① 「中東の紛争にトルコはどう関わったか」
研究員 金子真夕、12月7日）

② 「トルコは外交安全保障で何を指そうと

しているのか」(研究員 金子真夕、12月14日)

③ 「マグリブ諸国の社会経済問題」(研究員 高橋雅英、12月21日)

- ・12月9日(金)、スウェーデン安全保障政策研究所ストックホルム南アジア・インド太平洋センターのジャガナート・パンダ・センター長と岐阜女子大学南アジア研究センターの笠井亮平特別客員准教授が来訪し、当調査会の研究員らと意見交換を行った。



- ・12月16日(金)、高尾研究員が横浜市立大学講義にオンライン出講した(演題:「アラビア半島とイスラーム主義」)。
- ・12月16日(金)、青木研究員が広島市立大学国際学部特別講義にオンライン出講した(演題:「アフガニスタン国家建設の課題」)。

3.1月の予定

- ・1月19日(木)、15:00~16:30、中東情勢オンライン講演会(相川 一俊 駐イラン大使「イランの現状と今後の展望」) *会員限定
- ・1月27日(金)、8:30~10:00、於:オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(森 健良 外務事務次官(「2023年の日本外交の展望」)) *法人会員限定
- ・1月30日(月)、14:00~15:30、中東情勢オン

ライン講演会(池田 明史 前東洋英和女学院大学学長「演題未定」)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。